

夏のオープンハイスクールを終えて

7月24日(月)加古川南高校の夏のオープンハイスクールを開催しました。校長挨拶は『加古川南高等学校の夏のオープンハイスクールにご参加いただきました皆さん、数多くある選択肢の中から、加古川南高等学校を選択していただき、誠にありがとうございます。ご参加いただきました皆さんにとって有益で充実したオープンハイスクールになれば嬉しく思います。さて、加古川南高等学校の魅力は、ズバリ3つです。

～ワクワク・ドキドキ 思いっきり Enjoy life of 加古南～を合い言葉に
一つ目、興味関心に応じて、多様な学びを保証し、魅力ある授業を展開しています。
二つ目、生徒と先生です。つまり加古南の学校文化、雰囲気です。

お互いの信頼関係を築き、フレンドリーで、心優しく満面の笑顔で自分の夢や目標にむかって学校生活を送る生徒、その頑張る生徒を、特色ある授業や部活動、特別活動などに全力でサポートする先生方で、学び舎は活気と情熱にあふれています。

三つ目、同窓会、PTA、学校が三位一体となって、加古川南高校の教育活動を一步ずつ着実に展開しています。加古南は、令和4年で創立40周年を迎えました。その節目に、同窓会、PTAがパートナーシップのごとく加古南教育活動にご理解と惜しみないご支援をいただいています。

今日は、その詳細や具体的内容を、可能な限り、限られた時間のなかで、加古南のありのままの姿を生徒、職員が、皆さんを歓迎し心一つとなって表現しますので、よろしく願います。』という内容でした。今年度は、昨年度の中学生・保護者の皆さんの参加人数の総数が大幅に上回り、オープンハイスクール実行委員会(生徒を中心とした委員会)は、とても光栄に感じながらも嬉しい悲鳴を上げました。本校の実行委員会としてのスタッフは、生徒会や生徒会役員そして本校が育てているボランティア精神をベースに自ら主体的に参加する生徒で組織されます。また、先生方は数人の運営スタッフ(校門・駐輪場から誘導・受付)や31ブースの体験講座、そして21種類の部活動体験の役割で当日の任務がありますので、参加人数が多くなったから、運営に先生方の人数を増やすことは限度があります。この嬉しい悲鳴を見事に乗り越え、成功裏に導いたのは企画立案運営に携わった企画広報部の先生方の工夫や知恵、そしてボランティア生徒たちです。その人数は、昨年度より大幅に増えて64名です。体育館でスタンバイしていて、ニコニコとして満面の笑顔の3年次の女子生徒さんに「ご苦労様です。スタッフとして何故、お手伝いをしてきているのですか?」と声をかけたところ、その生徒はたまたま実行副委員長で、「この夏のオープンハイスクールは加古南の看板で、私が中学生の時、加古南のオープンハイスクールに参加して、そこで歓迎して案内をくれた先輩が、すごく爽やかで明るく親切だったので、今度は自分が笑顔をもって中学生を加古南に歓迎したい。」と語ってくれました。さらに、もう一人の生徒さんは、「私は1・2年生と何も参加してきませんでした。このままで加古南を卒業するには、勿体ないし、何も貢献していないので何が残したいと思い、それに今日が誕生日なので、記念としてボランティア生徒として参加しました。」と、全く予想以外の答えが満面の笑顔で答えてくれました。本日も参加していただきました中学生の皆さん、保護者の皆様、暑いなか足を運んでいただき誠にありがとうございました。そして、加古南の実行委員会の皆さん、心のこもった案内、歓迎の笑顔。本当にありがとうございました。これが本校の等身大の姿の一つと思えば **Be Happy!**

